



おぐに議会だより

第22号

平成28年2月10日

- 平成27年第4回定例会
- 平成28年第1回臨時会
- 町政を問う（一般質問）
- まちへの想い（高校生編）



発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592

熊本県阿蘇郡小国町宮原 1567-1 TEL. 0967-46-2119

条例関係

平成27年第4回定例会

平成27年12月8日～

- マイナンバー法に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供条例の制定
…マイナンバー法に伴い特定個人情報の種類を定めるもの
- 税条例の一部改正…マイナンバー法施行による各種申告、申請の内容に個人番号、法人番号を記載することほか
- 地熱資源適正活用条例の制定…地熱資源を利用する地熱発電開発について必要な事項を定めるもの
- 商工業設備資金利子補給条例の一部改正…融資機関に日本政策金融公庫を追加
- 給食センター設置条例の一部改正…建築に伴い施設の住所を変更

損害賠償

- 損害賠償の額を定める件…町道崩壊線落石事故にかかる損害賠償の額を定めるもの

補正予算

- 平成27年度一般会計補正予算(第7号)
 - ふるさと納税謝礼1,700万円、乗合タクシー委託100万円、落石事故損害賠償金など
- 平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
 - 高額医療保険給付1,930万円
- 平成27年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
 - 保険料還付金3万円

同意・諮問

- 固定資産評価審査委員会委員の選任…室原知邦さん(黒淵、再任)
- 人権擁護委員の推薦…宇都宮美知子さん(上田、新)

発議

- 子ども医療費の県費助成の拡充を要望する決議

専決承認・ 条例制定ほか

平成28年第1回臨時会

平成28年1月21日

- 専決処分事項の承認(税条例の一部改正)…マイナンバー法関係 全員賛成
- 副町長の定数を定める条例の制定…国の派遣制度を利用し副町長を置く 賛成多数
 - 反対討論 副町長制度には反対しないが、今必要なのか。
国の職員派遣のための副町長は認められない。(児玉議員)
- 平成27年度一般会計補正予算(第8号)…ふるさと納税に対するお礼980万円ほか 全員賛成
- 地熱資源活用審議会委員選任…議会から2名選任

採決結果一覧表

	議案番号	事件名	採決結果	穴井 帝史	大塚 英博	北里 勝義	高村 祝次	児玉 智博	時松 唯一	穴見 まち子	松崎 俊一	熊谷 博行	時松 昭弘	松本 明雄
条例・補正予算・決算案件など	議案第55号	マイナンバー法に基づく個人番号の利用特定個人情報の提供条例制定	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○
	議案第56号	税条例の一部改正	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○
	議案第57号	地熱資源の適正活用条例制定	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
	議案第58号	商工業利子補給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第59号	学校給食センター設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第60号	損害賠償額の額を定める件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第61号	平成27年度一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第62号	平成27年度国保特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第63号	平成27年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	賛成多数										
	諮問第2号	人権擁護委員の推薦	適任	全員賛成										
臨時議会	発議第4号	子ども医療費の県費助成の拡充要望	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
	承認第1号	税条例の一部改正の一部改正(専決)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第1号	副町長の定数を定める条例制定	可決	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○
	議案第2号	平成27年度一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成28年第1回産業常任委員会

平成28年1月21日

○ゆうステーション施設整備関係について

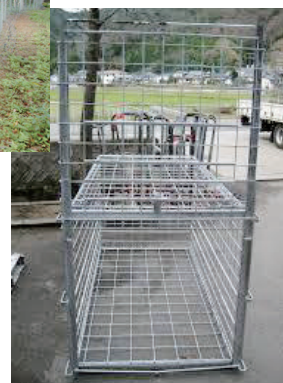
○有害鳥獣対策について



ゆうステーショントイレ



有害鳥獣防護柵



捕獲器



粗大ゴミの収集は 行うべきだ

児玉 智博

【町民課長】今現在、要望を聞かない。高森、南阿蘇の事は把握しているが、ここが回収を始めた経緯はゴミ出し場に粗大ゴミが放置された事があったから。ただ、高齢化の中、車を持っていない方などについての回収は、要望が多数あれば検討も必要かと思っている。

【町民課長】滝美園への持ち込みをお願いしている。ゴミ収集カレンダーを配布して周知している。

【町長】ご意見の中で検討している。高森町と南阿蘇村で収集を行っているが、小国町も実施するべきではないか。

【町長】ご意見の中で検討している。高森町と南阿蘇村で収集を行っているが、小国町も実施するべきではないか。

【町長】ご意見の中で検討している。高森町と南阿蘇村で収集を行っているが、小国町も実施するべきではないか。



粗大ゴミ

を招く。

また、高齢者が運転出来なくなったなど思った時、安心して免許を返上出来るようにとか、Uターン・リターンの受け入れというのを考えれば、こうしたインフラ整備は必要だ。

【町長】ご意見の中で検討している。高森町と南阿蘇村で収集を行っているが、小国町も実施するべきではないか。



有害鳥獣と公園問題と 地球温暖化

松本 明雄

【町長】来年度は是非、政策的にやりたいと考えている。場所も状況を確認して検討したい。

【町長】来年度は是非、政策的にやりたいと考えている。場所も状況を確認して検討したい。

【町長】来年度は是非、政策的にやりたいと考えている。場所も状況を確認して検討したい。

【町長】来年度は是非、政策的にやりたいと考えている。場所も状況を確認して検討したい。

主な健康遊具の効果



【町長】小国町も是非やっていきたい。



マイナンバー制度と 見守り応援隊

松崎 俊一

【問】マイナンバー制度について、当面は行政機関のみの利用だが、民間などにも活用が拡大するのか。また現在、課税や社会保険料の算定は、「所得ベース」で行われているが今後、金融所得なども含めて総合課税となる可能性もあると聞く。

また、現実的な課題として、カードを紛失した際にどの程度個人情報漏れるのか、その影響はどのようなものか。また、導入のコストは。

【総務課長】現在の段階で、国の法律によりすべての国民に番号がふられた状況にある。今後、行政の中でも戸籍業務などにも拡大するものと思われる。番号カードのチップに入っている個人情報、住所氏名生年月日と顔写真となる。コストとしては、導入時に町の費用700万円、毎年のメンテナンスに100万円の予算が必要。

【問】11月熊本県の「見守りフェスタ」が小国町で開催され、小国町



見守りフェスタチラシ

の民生委員・児童委員の寸劇も行われた。いろいろな団体が関わっているが、その内容は。

【答】安心して暮らせる地域づくりを目指して、県の民生委員、県社協、県警、熊本県が連携し、ガス協会、電力会社、郵便局、消防署などが協力。小国町でも前記の団体のほか、JA、老人クラブ、金融機関、ボランティアの会などが協力し、地域の見守りの強化に取り組んでいる。



小国町の地方創生に向けて

大塚 英博

【問】小国の人材を育成する為の専門的な道德教育の取り組みは。

【教育長】道德教育については、平成30年から小学校で、平成31年から中学校で取り組む予定。道德教育の問題についてはもつと議論し、制度まで考えなければと思っている。

【問】小国中学校寄宿舎の入居数の減少は。

【教育委員会事務局長】現在は24名が入舎している。数年で若干減少した。

【問】スクールバスの利用範囲を小国学生から広げては。また、寄宿舎に高校生は入れないか。

【教育長】中学生のスクールバス利用については検討をしている。また、高校生を寄宿舎に入れるという問題は、中高一貫、一体型の学校として考え、議論し、今後、検討していく。

【問】マイナンバーの普及に向けては利点を前面に出し、早急な取り組みを。

【総務課長】充分なセキュリティ

対策を行い、住民の不安を取り除くことが普及に繋がると考える。

【問】役場からの配布物はすべての町民に配布されているか。

【総務課長】広報等の配布については行政部長からの配布を基本にしている。組に入っていない人々には役場内や郵便局等に備えてある。

【町長】アパートのオーナーにもご協力いただける部分だと考えている。

【問】大観峰トンネルの取り組み状況は。

【町長】南小国町、小国町、阿蘇市で事務レベルの話をした。整備するとなると事業費や効果を問われる。今後、方向性を話し合いながら進めていく。

【建設課長】本路線には、212号改修促進期成会がある。期成会を利用して、県・国への要望活動を続けていく。



町の災害対策と男女共同参画の推進について

北里 勝義

【問】小国町の災害対策である自主防災組織のリーダー・サブリーダーの育成、土砂災害危険住宅移転促進事業、急傾斜崩壊対策事業・杖立地区の災害対策について、現状とこれからの取り組み等を。また防災のキーワードと言われている自助・共助・公助のなかで、自助・共助は大変重要であると思っている。いろんな取り組みの中で町が地域と関わることで、地域のきずなが強まり、防災力の向上につながるものと思っている。そのためには、動的な役場が求められると思っているが、町の考えを伺う。

【答】担当課長よりそれぞれの事業の取り組み等の詳細な報告があった。

【町長】町民の安心・安全を守る最大の責務の中で、地域の動きやきずなは大変大事であり、地域と連携を取りながら役場職員が動くという部分については積極的に進めたい。

【問】平成25年3月に小国町男女共

同参画社会づくり計画が策定されているが、進捗・活動状況は。また女性活躍推進法が新たな施行されていくと思うが、女性を登用することによって大きな力が出てくると思う。女性職員の採用や登用についてどのように考えるか。

【住民課長】男女共同参画社会推進懇話会においては、年度ごとの点検と評価。また町男女共同参画社会推進会議においては、項目を設け点検を行っている。

【町長】基本的には適材適所という部分で、人事を考えていきたいと思っているが、様々な施策を展開していくなかで、女性の活躍推進計画の策定等を検討したい。



関田地区急傾斜崩壊対策事業



行政の現状及び今後の課題等について

時松 唯一

【問】小国町新施設（学校給食センター、柔道場、プール）に対する職員全員への啓発が必要と考えるが。

【町長】機会があるごとに職員へ啓発していく。

【問】すべての職員は全体の奉仕者であるべきだが、どのように考えているか。

【総務課長】窓口業務、電話対応等、基本的な事、町民から見られる、またその負託に応えるような仕事、態度をすぐしていく必要があると考えている。

【問】職員の公有地駐車場使用料金が徴収について、必要だと考えるが意識はあるのか。

【町長】現在そのまま、無料でいく。

【問】職員の時間外手当が年間2千万を越している。対策を講じる必要があると考えるが。

【総務課長】国からの業務増加（少子化対策、高齢化対策、地方創生）等、複雑になっている。時間外については、補助絡みや県からの委託も含まれている。

【問】ふるさと納税のお礼として空き家になっている町内の実家、親戚の家を手入れ清掃するサービスを加えたらどうか。

【町長】現実的にできる範囲の部分でパンフレットに肉付けされていけるような形で、さらに納税額が増える努力を町としてもしていく。

【政策課長】本当の意味でのふるさと納税に対してのお返しできる一つの方法と思う。検討する。

【問】小国公立病院二ユースで、「小国、南小国出身の若い看護師は帰ってこない、医療従事者は都市部で仕事をし、小国に住んでる住民は小国で医療を受ける。こういう状況は限界にきている。」と記されています。町長はどのように考えているか。

【町長】医師不足が顕著になっている。町民の知り合いの方等、さまざまなネットワークを通じて努力していきたい。



町の住環境問題に 打開策を

熊谷 博行

【町長】浄化槽法第十一条についてどのように理解し、設置者へ周知徹底を行なっているか。

【住民課長】浄化槽法第十一条は、毎年一回法定検査を行なわなければならない。指定機関として熊本県浄化槽協会により法定検査を行なっています。町の指導としては、未受検者に通知をしている。

【町長】この検査行なう者、そうでない者そのあたりの指導は、行政の責任と思う。次に私独自で調査し計算したものなのですが、農業集落排水と個人合併槽の一年間にかかる経費に差があるようだが、特に集落排水のほうは、赤字経営と思う。この打開策と、今後の下水道整備計画があれば説明を。

【建設課長】町のほうといたしましては、集落排水事業が一部地域に限定されておりまして、問題視されているのが、料金の格差というものです。下水道整備より個人設置の合併浄化槽の助成金を進めるよう考えている。



宮原保育園

【町長】今教育施設がやっと完成をさせていただきました。この開発センターも耐震化になつていない状況です。今現在も執行部の中で検討している。保育園の建設、このあたりも身近な話題となつている状況です。この二施設ぐらいが今のところ今後の建設予定です。



認知症に対する町の サポートは

穴見 まち子

【町長】認知症についてお尋ねしたい。最近ではテレビで話題にならない日はないが、家族や周囲のサポートが必要。町ではどのようなサポートをしているか。

【福祉課長】町では包括支援センター高齢者SOSネットを立ち上げ、徘徊のおそれのある認知症高齢者を地域で見守るとともに、早期に発見できるように支援体制をしている。心配のある方は町に登録申請をして見守りカードを作成してもらい各機関と話し合うことができる。

【町長】家族では言えないことも行政の対応があれば少しは安心できるのではないか。GPS利用状況は。

【町長】認知症GPSは平成22年度小国町社会福祉協議会が見守り事業として使っているが、今のところ利用がない。

【町長】手づくりの館に新しい機械が設置された経緯を。

【町長】平成26年度予算計上がなく予備で乗り切り平成27年度備



ライスセンター精米の様子

品購入で設置した。手づくりの館についてはPRを行い、多くの人に使用してほしい。【町長】農地の集約化、担い手の大規模化、法人化、山間地にある小国町は鳥獣被害等とあり農協などと考えていきたい。



平成28年度新規事業及び補助金について

高村 祝次

圃地域資源をいかに有効活用するか、定住促進はしつかりした仕事があれば定住には繋がらない。

各種団体への補助金を精査し、費用対効果がどの程度あったのか、また検査しているか伺う。

【町長】既存の概念でもなく新しい考えを取り入れることが大事。外部からの官僚人材登用等(TV視聴)も取り入れられたらと思う。

平成28年度予算は非常に厳しい状態。厳しがゆえに補助団体との協議も予定に入れている。

【情報課長】杖立温泉観光協会補助金通帳は、入金、支出、領収書を確認しているところ。

圃地域おこし祭りについて、地域のための祭りでは意味がない。今後の祭りのあり方についての考えは。

【町長】コミュニティプラン(地域活動組織)楽夢下城、387会、ほっぽ宝葉祭、ちちこぶ祭がある。町外から来ないから駄目な祭りだとは思わない。秋祭りは産業



薬味野菜の里

祭という部分があり、町民が楽しむ祭り、結論は両方続ける。

圃①林業を活気づける政策は。②ゆうステーション周辺工事、薬味野菜の循環型農業は環境モデル都市の関連がある。③遊具公園の前に実施する必要があるのではないか。

【町長】①森林組合と町と連携していく。②周辺工事、整備工事と一緒に考えればと思う。③遊具公園は造る。



次年度予算について

時松 昭弘

圃次年度の国家予算の概算額が示されているが、町の予算は厳しいとの事だが、創生関連予算等の基本構想・基本計画を立てて行くべきではないか、次年度はどのような形で考えているか、お尋ねする。

【町長】今年度補正予算、28年度当初予算を含めて、情報収集を図っている。地方交付税は前年同様ではないかと思う。地方創生部分の予算がどのような使い方が出来るかは、まだ明確ではない。当然、構想・計画を作っている。省庁との情報を仕入れながら計画を立て、町は行っている。

圃省庁補助事業等の活用、特に過疎債の利用を図り、ばらまき型ではなく無駄な予算の見直しを図っていくべきではないか。

【町長】団体補助金について点検をしてチェックをして行く。

農林業の担い手について

圃農地の集積事業に関連した4つ



田畑の風景

の改革ができてきている。上田地区のみではなく町全体が取り組んでいき、新しい農政改革に順応していく必要があるのではないか。

【町長】町としても積極的に力を入れて行く。

町独自でも集落を守る組織を作ることは大事なことで考える。

圃小国町全体に進めて頂きたい。

【町長】町として非常に大事な部分であり、しっかり考えていく。

今回の議会だより発行にあたり、より多くの町民の皆様に議会だよりを読んでいただける様に、今回から町民皆様の町・議会へのおもいを掲載することにしました。第一弾として小国高等学校3年生2名にお願いしました。入試・卒業を前に多忙な2人には、大変お世話になりました。今後の活躍を、お祈りいたします。
※ご希望の方は、広報委員（熊谷）までご一報お願いします。

小国町へ「私の想い」

小国高校 三年一組 大塚 響



私は、小国町が大好きです。自然に恵まれ、名所や温泉もあり、町民の方々は人柄もよく温かい人ばかりです。

こんなに良いところばかりの小国町ですが、消滅可能性都市に挙げられています。これを聞いた時とてもショックを受けました。

この時、私は将来は小国町の活性化に携わりたいと思う様になりました。

まずは小国町の状況や町民の意見も知りたいと思い、町の百人会議に参加させていただきました。

そこでは私と同じ気持ちで小国町を元気にしたいという方々ばかりで、嬉しくなりました。印象に残ったのは、老人ホームと保育園を一緒にしてはどうかという意見です。

同世代だけでは得られない刺激や、遊び、温かみを得ることができ、メリットの方が多くなると期待されると考えます。

私は大学に進学して地域経済について学ぼうと考えています。実際に地域活性化を行っている所に行き、自分の目で見て、将来小国町の役に立てるように努力したいです。

私の考える十八歳選挙権

小国高校 三年二組 橋本 渉



私はこれから導入される十八歳選挙権について賛成である。なぜなら、幅広い年齢層の意見の反映が可能になるからである。

若者の考えを受け取ることで、これまでとは違った方向からのものの見方など、日本の選挙の幅を広げ、よりよい選挙が実現できると私は感じている。

しかし最近では、若い世代の選挙への無関心や不参加など、若者の政治に対する関心の低さが目立っている。これは非常に問題であり、せっかく幅広い年齢層での意見を取り入れる機会が設けられたのに、私たちが生きる未来に無責任であることではないだろうか。

私は自ら選挙に参加することで、将来を真剣に考えるようになると思う。よって、これから積極的に選挙に参加しつつ、友人などにも声を掛け、私たちの未来のために導入されたこの制度を良い方向に繋げていきたい。

以上が私の考える十八歳選挙権である。

議員の研修と勉強会

議員の質の向上、それぞれの役割を果たすため、研修に参加。また、自主的に勉強会を開催しています。

◆阿蘇郡市正副議長研修

平成27年10月29日～30日佐賀県武雄市役所並びに武雄市議会を訪問。議会運営や教育改革の研修を行いました。翌日は、潮受け堤防も視察。



武雄市での研修

◆熊本県町村議員広報研修

同じく11月19日、自治会館で議会広報クリニックが行われました。現在発行されている「おぐに議会だより」を題材に指導、助言をいただきました。



広報研修

■勉強会

11月4日勉強会を開催しました。内容は、議会懇談会の開催について、広報委員研修の報告、その他の意見では、地域交通会議の件、赤谷地区の件、地域創生総合戦略の件など話し合いました。

■平成27年第7回全員協議会

12月1日の全員協議会では、12月議会に提出される条例（制定条例2件、改正条例3件）、補正予算、新電力について、総合戦略についての説明、質疑が行われました。



全員協議会の様子

■平成28年第1回全員協議会

1月6日の全員協議会では、地方創生人材派遣制度についての説明と制度実施のための条例改正についての協議が行われました。

■同第2回全員協議会

1月14日の全員協議会では、国民健康保険事業の現状などについて執行部から制度の概要と今後の動向などの説明の後、質疑が行われました。

編集後記

平成28年の新年を迎えました。昨年は、学校給食センター・プール・武道場・連絡道等大変なプロジェクト工事の完成・落成式が行われました。今後、施設利用への地域住民との融合、子どもたちと大人のふれあいの場所になればいいと思いますし、なるべきと思います。

広報委員会では、町・議会に対する意見・考えを述べていただく「まちへの想い」コーナーを今年よりスタート致しました。第一回は、高校生編（小国高校）です。次回に、委員がお願いにあげましたら、ご協力をお願いします。

私たち広報委員も町民が一人でも多く読んでいただける議会だよりを目指して、今年一年間頑張つて行きたいと思っています。

（熊谷）

【発行責任者】

議長 渡邊 誠次

【広報委員会】

委員長 熊谷 博行
副委員長 穴見 まち子
委員 松崎 俊一
委員 穴井 帝史